

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 共立精機	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒719-1134 岡山県総社市真壁1515
----	--------------------------	----	--

本票作成	部署名：製造ユニット
------	------------

主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	自動車部品の製造 従業員：229人
-------	-------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	東第2工場	岡山県総社市真壁1482
	②	西第3工場	岡山県総社市久代1408-5
	③	東本社工場	岡山県総社市真壁1515

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	8,493 t CO ₂	7,959 t CO ₂	8,068 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	東第2工場	3,981 t CO ₂
	②	西第3工場	2,738 t CO ₂
	③	東本社工場	1,239 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度	～	平成 31 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 2.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 加工高	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		4.632 t CO ₂ /百万円)	4.738 t CO ₂ /百万円)	4.400 t CO ₂ /百万円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

<ul style="list-style-type: none"> 生産の減少に対応して使用電力量を減少できなかった
--

【推進体制】

- ・省エネ法に基づきエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制のもと各工場の省エネ推進委員で組織する省エネ推進会議を定期開催し、効果的な省エネ活動を実施した

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(27年度実施分) 東第2工場 東本社、東第2工場 東本社工場 東第2工場 (今後実施予定分) 東本社工場 東第2工場 西第3工場	(27年度実施分) ・工場内エア-主配管100Aル-フ化増設 (CO2削減量17t/年) ・変圧器200、75KVAを高効率型へ更新 (CO2削減量2t/年) ・ヒ-タ-7kw×6台、予熱設定の改善 (CO2削減量6t/年) ・エア-ブ-ロー集中配管へ改善 (CO2削減量2t/年) (今後実施予定分) ・老朽空気圧縮機75kw更新 (CO2削減量20t/年) ・工場内端末エア-供給タンク増設 (CO2削減量10t/年) ・変圧器500、300KVAを高効率型へ更新 (CO2削減量3t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・定期の省エネ委員会の活動で全社的に環境に対しての意識付けを行う
- ・夏場の空調をピーク時間帯に切ることによってデマンドを抑制し電力量の削減を図る